



武蔵丘

7月号

烏山学舎世田谷区立武蔵丘小学校 校長 今宮 直樹
世田谷区北烏山 1-47-11 TEL 03-3308-6722
URL <http://school.setagaya.ed.jp/muka/>



それぞれの運動会

副校長 佐々木 哲通

6月6日、爽やかな気候の中、運動会が開催されました。

運動会は、見る人によって違う姿に見えるものなのだと思います。

私は今年初めて武蔵丘小に異動してきたので、まずは「異動者の目線」で運動会を見ました。運動会は、学校によって進め方や雰囲気が少しずつ異なります。その実施の仕方を見ていると、その学校が地域や保護者の方々とともに作り上げてきた歴史が見えてくるように感じます。

また「教員の目線」でも見ていました。春の運動会は、とにかく練習時間が限られています。少ない時間の中で、どのように効率よく指導していくか、教員はかなり神経を使います。それでも、子どもたちの一生懸命な姿や、だんだんと形になっていく演技を見ていると、こちらも頑張らなければという思いになります。

そして、「親の目線」でも見ていました。つい1週間前に私自身の子どもの運動会を見てきたこともあり、つい親としての気持ちで見てしまう自分もいました。「こんな頃もあったな」「こんなことができるようになるのか」。家で何度も見たダンスも、友達と一緒に一生懸命演技している姿を見ると、また違って見えます。

そして何より、今年はこれまでとは少し違う場所から運動会を見ることになりました。職員室で仕事をしていると、校庭からは子どもたちの声とともに、教員の熱のこもった指導の声が聞こえてきます。子どもたちが帰った後も、延々と振り付けについて話し合う教員の姿。狭い職員室で、大人たちがみんなで踊りだす謎の時間。誰もいない教室で、夜遅くまで振り付けや指導の確認をしている教員の姿。

本番では、どの学年も本当に素晴らしい演技を披露してくれました。校庭に立つ子どもたちの姿は、練習を始めた頃よりもずっと大きく、たくましく見えました。その姿に胸を打たれながら、ふと横を見ると、そこには子どもたちを見つめる教員の横顔がありました。ぐっと力が入った表情。涙をこらえているのか、心の中で「頑張れ」と祈るように見守っているのか。その横顔には、言葉にならない思いがありました。その横顔を見たとき、運動会という行事の中にある、もう一つの物語に触れたような気がしました。

きっと、見に来てくださった全ての方に、それぞれの物語があったのだと思います。今回の運動会が、皆様にとって素敵な思い出の一つとなったことを願っています。

6月20日・21日の2日間に渡って、「むさしスペシャルイベント2026」が開催されました。

たくさんの参加者で大盛況のうちに幕を閉じました。当日は各イベントの先生方はじめ、

多くの方にお手伝いいただきました。ありがとうございます。様子をホームページに載せていますのでぜひご覧ください。

